

新年



温故知新

笠松町議会議長 伏屋 隆男

新年あけましておめでとうございます。

平成22年の輝かしい新春を迎え、今年も皆様にとって良い年になりますよう心からお祈り申し上げますとともに、日頃から議会活動に多大のご理解とご支援を賜り、厚く感謝申し上げます。

昨年は町生誕120年という節目の年で、町花を「さくら」としたり、マスコットキャラクター「かさまるくん・かさまるちゃん」を誕生させるなど未来に繋がる事業を展開してまいりました。

しかし、笠松町は明治22年7月1日に町制を施行しましたが、古くは戦国時代から木曾川を活用した物流の拠点、川湊として発展してまいりました。ここで改めまして、先人たちの苦難に耐え、幾多の課題を解決し、今日の礎を築かれたことに衷心より感謝申し上げます。

さて、今年は寅年です。そこで、虎に関することわざを調べてみました。

「虎穴に入らずんば、虎子を得ず」（思い切った危険を冒さなければ、目覚ましい功名を立てられない）
「虎に翼」（勢力のある者にさらに勢いを加える）^{とら}

^{うそぶ} 嘯けば風生じ、^{のぼ} 龍騰れば雲起こる」（英雄が一度立てば、天下に風雲を巻き起こす）など、大変勢いのあることわざがあります。

笠松町は、リバーサイドタウン構想をはじめとする将来ビジョンや山積する課題を着実に実現するべく議会と行政が一丸となって進めておりますが、昨年の町生誕120年を節目として、昔を振り返りながら未来に向けて新しさを見つける、「温故知新」の精神をより一層高揚させるため、今年の寅年から大いに羽ばたけるよう、虎に関する勢いのあることわざどおりに邁進したいと考えております。

そして、今日の礎を築いていただいた先人たちの恩に報いるためにも、町民が笠松町民であることに誇りを持ち、笠松に住んで良かったと思われる政策を達成できますように全力で取り組みますので引き続きのご支援を切にお願いする次第であります。

終わりに、新しい年を寿ぎ、皆様のご健康とご多幸を心から祈念申し上げ、新年のごあいさつといたします。